

社会資本総合整備計画(社会資本整備総合交付金)

平成30年1月19日

計画の名称	男鹿市における良好な水環境の実現																
計画の期間	平成27年度～平成29年度(3年間)					交付対象	男鹿市										
計画の目標																	
秋田県生活排水処理構想に基づき、暮らしをとりまく水環境について、下水道整備により水質を保全し快適な暮らしの実現を推進する。																	
計画の成果目標(定量的指標)																	
下水道処理人口普及率を63.9%(H27当初)から66.2%(H29末)に増加させる。																	
定量的指標の定義及び算定式									定量的指標の現況値及び目標値			備考					
									当初現況値	中間目標値	最終目標値						
									H27	H28	H29						
下水道処理人口普及率 下水道を利用できる人口(人)／総人口(人)									63.9%	65.5%	66.2%						
全体事業費		合計 (A+B+C)	1,092 百万円	A	1,092 百万円	B	0 百万円	C	0 百万円	効果促進事業費の割合 C／(A+B+C)	0.0%						
交付対象事業																	
A 基幹事業																	
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	事業及び 施設種別	省略 工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考
											H27	H28	H29	H30	H31		
1-A1-1	下水道	過疎	男鹿市	直接	－	汚水	新設	浦田地区管渠整備	汚水管φ150mmL=2000m	男鹿市						256.00	
1-A1-2	下水道	過疎	男鹿市	直接	－	汚水	新設	女川地区管渠整備	汚水管φ150mmL=3300m	男鹿市						370.00	
1-A1-3	下水道	過疎	男鹿市	直接	－	汚水	新設	緑ヶ丘地区管渠整備	汚水管φ150mmL=450m	男鹿市						45.00	
1-A1-4	下水道	過疎	男鹿市	直接	－	汚水	新設	樽沢地区管渠整備	汚水管φ150mmL=3400m	男鹿市						340.00	
1-A1-5	下水道	過疎	男鹿市	直接	－	汚水	新設	百川地区管渠整備	汚水管φ150mmL=3400m	男鹿市						30.00	
1-A1-8	下水道	過疎	男鹿市	直接	－	汚水	全種	施設計画の見直し	効果的事业計画の策定	男鹿市						51.00	
合計																1,092.00	
B 関連社会資本整備事業																	
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	事業及び 施設種別	省略 工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考
合計																0	
番号	一体的に実施することにより期待される効果																備考
C 効果促進事業																	
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	事業及び 施設種別	省略 工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考
合計																0.00	
番号	一体的に実施することにより期待される効果																備考

交付金の執行状況

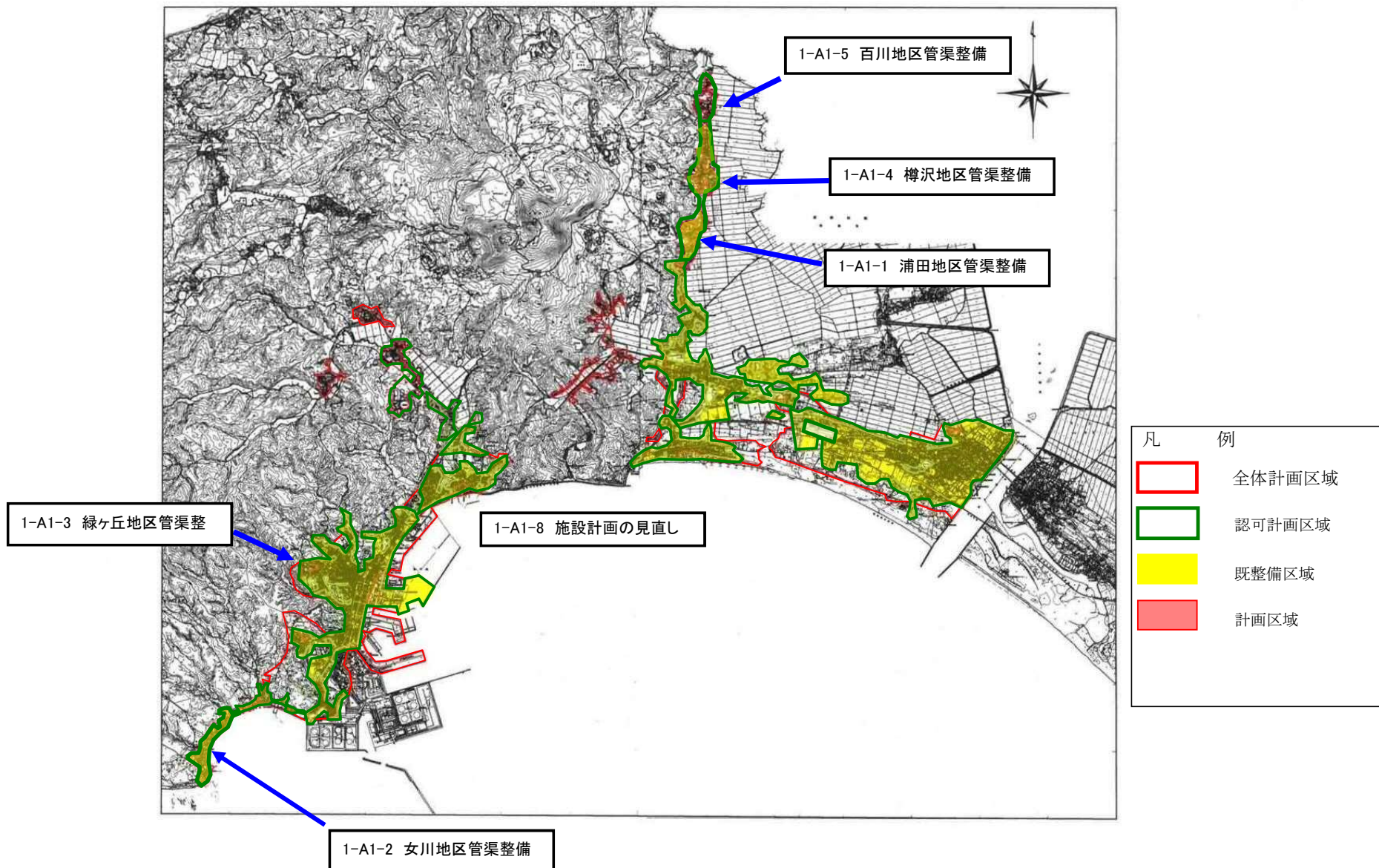
(単位:百万円)

	H27	H28	H29	H30	H31
配分額 (a)	181	132.5	106.9		
計画別流用 増△減額 (b)					
交付額 (c=a+b)	181	132.5	106.9		
前年度からの繰越額 (d)					
支払済額 (e)	181	132.5	106.9		
翌年度繰越額 (f)					
うち未契約繰越額 (g)					
不用額 (h = c+d-e-f)					
未契約繰越＋不用率 (h = (g+h)/(c+d))					
未契約繰越＋不用率が10%を超えている 場合その理由					

※平成27年度以降の各年度の決算額を記載。

社会資本整備総合交付金

計画の名称	男鹿市における良好な水環境の実現		
計画の期間	平成27年度 ～ 平成29年度（3年間）	交付対象	男鹿市



社会資本整備総合交付金チェックシート

計画の名称: 男鹿市における良好な水環境の実現

事業主体名: 男鹿市

チェック欄

I. 目標の妥当性	
①上位計画等との整合性	
1) 計画の目標が上位計画等と適合している。	○
2) 地域の課題を踏まえた目標が設定されている。	○
II. 計画の効果・効率性	
②目標と事業内容の整合性等	
1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
3) 指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
4) 目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。	○
③事業の効果	
1) 十分な事業効果が確認されている。	○
III. 計画の実現可能性	
④円滑な事業執行の環境	
①計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○
②事業実施のための環境整備が図られている。	○
③関連する機関との調整が図られている。	○
⑤地元の熱意	
④事業に向けた機運がある。	○
⑤継続的な事業の展開が見込まれる。	○